

此の争議に對する会社の取扱は、会社内に在る学校の寄附金を利用して或は謀殺を僥倖して來て廿二に對し徹底的に勤政政策を以て一枚のヒラすら取り取りせよ一時は先手を取られ形勢上左邊最良とは強力を同情を寄せ來て解決の前途は今少し争議を細説する様にならざる望するは出で來る。

此の争議中に日清紡の全従業員はヤントケイモヤウ此中にも女工の会社に對する考へ前は全く一新した。

六、増しみを買つた日清紡

全名古屋の十三紡織工場への施後同盟のアップロは非常なる成巧を見、殊に争議團の要求が全紡織労働者の要求と完全に合致して居る為には刻々増大し左此の形勢に狼狽した、日清紡は日清紡に對して再三解決後進の抗議をするが日清紡をいよいよ窮地に追いつた。

七、日清紡系各工場に勝せろ会結成

争議發生後即時、東京、岡崎への戦斗猛烈を極め、岡東電日本社工場田新井分工場へは岡東に工場の組合を先頭に分會を組織してヒラの両、博望の故は座日運之復休の勢を成行し此社を勤勞して出張所を設け物凄いは社は社宅に街頭に工場内にはを卷いて吹き荒りあつてふをめく社労花にケイカイの大快をして嘖然として居る中に従業員は名古屋の兄弟を見放しにするは従業員の生活を守る兄弟を勝せろと勝せろを結成し發行されるヒラ、争議日報はドウ、工場内に持ち込め、激文、應援、メシビシは純大龍家に争議團の意見はいよいよ高まつた、
全国的に火花散る。

漸くして前回は日本紡織界に對する全国的な争闘となり日清紡名古屋工場に對しては二度と譲歩しないと言ふはせる強フル工工にせ労働者の力を運感なく羨望したのである。

九、解決

争議發生後二回、解火の手入りは付いそふ具の調度会社の不当なる態度の爲に決裂し最後の三日間に東調停隊の調停で解決した。

我々は此の報告書に全労働の本心の一語一語を記述しておきたいのであつて詳細なる報告をなすの義務と責任をマカノと痛感するものであるが刻々發生する諸所争の爲に不眠不休の状態で此の報告と責任の一端を僅なり此處に報告するものである。

<p>借入金返済 二二、一〇 臨時借入金 一七、〇〇 貸付金 四八、九一 銀行借入金 五、〇〇 貸付金 八、〇〇 貸付金 一〇、二九 貸付金 六七、九四 貸付金 一五、一八</p>		<p>東調停費 六、〇〇 材料費 四、五〇 印刷費 五、五〇 印刷費 一、九二五 印刷費 一、七〇〇 印刷費 四、六二二</p>	
<p>支出、印刷 五、六〇一六 支出、印刷 一七、〇〇〇 支出、印刷 一七、〇〇〇 支出、印刷 一五、〇〇〇</p>		<p>合計 一、二四六二二</p>	